

HOME &gt; 服育レポート &gt; 服育活動レポート一覧 &gt; No.031 衣服からの環境アプローチ 兵庫県高等学校

教諭（兵庫県）

## 服育レポート

衣服の持つ学習の可能性を子供たちに伝えるために

服育活動レポート

印刷用ページを開く▶▶



服と環境を考える 服育セミナー ・ 授業サポート ・ イベント参加

No.031 服育研修 衣服からの環境アプローチ	開催日 2013年1月15日(火) 14:20~16:10
開催 平成24年10年経験者研修（兵庫県） 対象：兵庫県高等学校教諭 10年経験者	
目的・経緯 10年経験者研修・環境教育は「講義及びフィールドワークをとおして、『学校教育における環境教育の推進』を図る」ことを目的に設定された選択研修です。 海外の大学とのe-ラーニングやフィールドワーク等といったカリキュラムとともに、衣食住の環境教育の事例研究として「服育の展開」について甲南大学においてお話しさせていただきました。	

### INDEX

- 服育活動レポート
- 先生のご感想 / 生徒さんのご感想

 服育セミナー  
授業サポート  
イベント参加

## 服育活動レポート


 研修タイトル「衣服からの環境アプローチ」

服を見つめ直す「服育」

今回の10年経験者研修に参加されていた先生方の担当教科は数学、理科、保健体育、社会に国語とバラエティにとんでいました。その中でひとつ共通していたのは全員が男性だったということです。



研修風景

女性の先生であれば衣服に対する興味関心も高い方が多いのですが、男性だと人にもよりますがあまり意識しない方が多いのではないのでしょうか。今回も「衣服からの環境アプローチ」ということで、新しい視点としてとても新鮮に聞いていただいていたようでした。

もちろん「服育」についても初めて聞いたという先生ばかりでしたので、まずは衣服の役割から服育の可能性についてお話ししました。

服のライフサイクルを通して環境との関わりを考える

続いて具体的に服と環境との関わりを見ていくのに、今回は衣服のライフサイクルを遡りながら見ていきました。

「リサイクル・廃棄」段階では、衣服の大半がゴミになっている現状や、リサイクル品としての出口が少ないこと。「着用」段階では、地球温暖化の観点から衣服でできる工夫として衣服の着用の仕方、洗濯や手入れの仕方について。そして最後に「購入」段階では、エコマークやカーボンフットプリントなどの環境マークについて説明をしました。

### FUKUIKU REPORT 服育レポート

服育活動レポート

▶ [服育活動レポート一覧]

▶ UPI 衣服からの環境アプローチ

▶ 着物の知恵を今にいかす

▶ "服育"がつかなく、人・環境・未来

▶ カーボンフットプリントって何だろう？

▶ 家庭科に服育をいかす～環境と社会性のアプローチから～

▶ みんなが変われば、世界は変わる

▶ 服育シンポジウム～様々な視点から制服を考えよう

▶ 服から考える環境

▶ 学校発！リサイクル商品の開発を目指して

▶ 服でできるエコ

服育発表会レポート

▶ 2006服育発表会

▶ 2005服育発表会

▶ 2004服育発表会

その他イベントレポート

▶ UPI 服育国際フォーラム



### 服育活動レポート

No.030 服育研修

NEW

着物の知恵を今にいかす

School

尼崎市中学校家庭科研究会  
(兵庫県)

服飾評論家

市田ひろみさんと

服育



様々な教科の先生方が参加されていまして、ライフサイクルの中で気になった部分や教科での取り組みのイメージもそれぞれ違うようでした。

すごろくで楽しくおさらい「制服の一生」

最後は衣服のライフサイクルのおさらいを兼ねて、「制服の一生すごろく」を全員に体験していただきました。



研修風景

おそらくサイコロを転がしてすごろくをするのは久しぶりという先生ばかりだったと思いますが、皆さん楽しみながら積極的に参加してくださいました。

最後にたまったチップを見てどういった一生を送ると環境負荷が低くなったり高くなったりするのかイメージでき、すごろくを通して講義の中でお話ししたことを確認していただけたようでした。

### 服育研修を終えて 先生のご感想



谷口文章先生  
(甲南大学文学部教授)

1月15日に「服育」の授業を、(株)チクマの有吉さんから行なって頂きました。Think globally, act locally (地球規模で考えて、地域において活動する)

といわれますように、1時間目の環境教育についての総論の講義および2時間目のTV会議システムによるタイ・プラナコーン大学からのグローバルな授業を実施しました。参加の先生方は初めての経験だったと思いますが、とくに3時間目の「服育」での「衣」についての授業も初めてのことだったと思います。

環境教育はローカルには、「衣」「食」「住」をめぐる教育であるともいえます。日常行動でのライフスタイルの改善、また、それが生き方に変化を及ぼす、という広い視野が与えられた「服育」の授業だったと思います。

服育の授業から、服の機能についてのみならず、生活環境、リサイクル(3R)、地球環境問題などを学び、その上で締めくくりとしてスゴロクのワークショップを体験しました。

これからあとの研修では、里山のフィールドワークや地域の素材を使ったハンドクラフト、そしてプログラム作りが待っております。「服育」の授業を最初に受けて、受講の先生方が具体的にものごとや環境を把握する最初のよいスタートになったと思います。

### 参加者のご感想

- 服育について初めて学習させていただきました。単に服といっても様々なアプローチがあり、特に資源やリサイクルについては教科と重ねあわせて授業にいかしていけると思いました。とてもよい講義でした。有難うございました。(高等学校理科教諭)
- CO2の発生については今まで考えておらず、カーボンフットプリントは初めて知った内容でした。服育という言葉も初めてで非常に勉強になりました。今後の保健の授業にも取り込んでいきたいと考えています。(高等学校保健体育教諭)
- 生徒にとって「服」は大変興味のあるものだと思います。その「服」について、普段とは全く違った観点で見ることができると面白かったです。(高等学校国語教諭)



学校行事の式典の代表格は、毎年3月の卒業式と4月の入学式でしょうか。いずれも学校にとって重要なセレモニーであり、フォーマルな装いがふさわしいTPOであるといえるでしょう。...

[続きを見る](#)

[コラム一覧](#)



[back](#) 【服育活動レポート一覧】 [next](#)

**CONTACT US**  
お問い合わせ・お申し込みは・・・

服育セミナーをご希望の方はお問い合わせフォームに必要事項を記入の上お申し込みください。  
また、服育セミナーに関するお問い合わせ、ご質問もこちらからお願いいたします。

お問い合わせ  
フォームへ  
▶▶▶

- ▶ 服育セミナーレポート
- ▶ 服育発表会レポート
- ▶ その他イベントレポート

● 関連情報

- [服育ブログ--服育セミナー関連](#)
- [服育ブログ--服育発表会関連](#)



▲ ページトップ

[このサイトについて](#) | [プライバシーポリシー](#) | [会社案内](#) | [サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#) 株式会社チクマキャンパス事業部 SORA編集室

COPYRIGHT CHIKUMA CORPORATION 2006-2012 ALLRIGHTS RESERVED. | 大阪市中央区淡路町3-3-10 (06)6222-3531 [fukuiku@fukuiku.net](mailto:fukuiku@fukuiku.net)